

## 市民アンケート調査の実施について

### 1. 実施の目的

「土浦市公共施設再編・再配置計画」の改定にあたり、本市の公共施設にかかる現状とその適正管理に向けた取り組みや、今年度の検討結果である「類型別の方向性（素案）」について、市民に幅広く意見・意向を伺うため、市民を対象としたアンケート調査を実施します。

### 2. 実施概要

市民へのアンケート調査の実施概要は以下の通りです。

実施対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15歳以上の市民3,000名</li> <li>（10～20代、30代、40代、50代、60代、70代以上各500名を無作為抽出）</li> </ul>
実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年3月14日（木）～4月4日（木）</li> </ul>
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無記名回答方式</li> </ul>
回収方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WEB回答（LOGOフォーム）</li> <li>・郵送</li> </ul>
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回答者属性</li> <li>・サービス類型別の方向性（素案）への賛否とその理由</li> <li>・施設の利用状況と今後の取扱いの意向</li> <li>・自由意見</li> </ul>
周知方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報つちうら</li> <li>・市ホームページ</li> </ul>

### 3. 今後の対応

アンケート結果を踏まえ、類型別・地区別の方向性を検討するとともに、個別の施設の方向性検討へ繋がります。



## 類型別の方向性（素案）について、あなたのお考えをお答えください

回答にあたり、別紙の「土浦市公共施設等再編・再配置計画 類型別の方向性（素案）」をご確認いただき、土浦市の公共施設が置かれている状況や現在進めている公共施設マネジメントの取り組みをご理解いただいた上で、以降の設問にご回答下さい。

設問1 類型別の方向性（素案）で示した23類型の「今後の方向性」のうち、以下の7類型について、ご自身のお考えに最もあてはまるものをお答えください。（a～dから1つ選んで○をつけてください）

また、「b. 一部修正の上、進めてよい」、「c. 現状維持がよい」、「d. その他」を選択した場合はその内容や理由について、その他、各類型に対するご意見やご提案があれば、右の意見欄にご記入ください。

	a この方向性で 進めてよい	b 一部修正の上、 進めてよい	c 現状維持 がよい	d その他	意見欄	
<b>施設類型：1. ホール、ギャラリー（市民会館、市民ギャラリー 等）</b> ☆建物総量を圧縮しつつ、ホールとして活用できる広さ・機能を持つ他の施設の有効活用により、機能の確保を図ります。 ☆民間ノウハウ活用による収益性向上、サービス向上を図ります。	a	・ b	・ c	・ d	→	1. ホール、ギャラリー
<b>施設類型：2. 図書館（図書館、地区分館）</b> ☆現在の利用状況や市民ニーズ等を踏まえた建物総量の適正化を図ります。 ☆より多くの市民が気軽に利用でき、市民生活の身近な存在となるよう、利便性向上を図ります。	a	・ b	・ c	・ d	→	2. 図書館
<b>施設類型：3. 集会施設、生涯学習施設（地区公民館 等）</b> ☆地域の活動拠点となる施設に機能を集約することで、建物総量を圧縮しつつ、施設の多機能化・多目的化による利便性の向上を図ります。 ☆施設の機能や運営内容の見直しにより、様々なニーズに対応した、魅力あるサービスの提供を図ります。	a	・ b	・ c	・ d	→	3. 集会施設、生涯学習施設
<b>施設類型：4. 屋内運動施設（武道館、新治トレーニングセンター 等）</b> ☆屋内運動施設として利用可能な他の施設の活用によりサービス量を確保するとともに、運営内容や機能の見直しにより、様々なニーズに対応した、魅力あるサービスの提供を図ります。 ☆民間ノウハウ活用による収益性向上、サービス向上を図ります。	a	・ b	・ c	・ d	→	4. 屋内運動施設
<b>施設類型：5. 高齢者福祉施設（老人福祉センター 等）</b> ☆高齢者の生きがい増進や健康づくりの場としての機能を確保しつつ、集約・複合化により建物総量の圧縮を図ります。 ☆他類型の施設との複合化により、多様な世代・目的の方が集える場の提供を図ります。 ☆温浴設備は、利用状況、維持管理コスト及び設備の老朽化状況等を踏まえ、今後のあり方について検討します。	a	・ b	・ c	・ d	→	5. 高齢者福祉施設
<b>施設類型：6. 児童館等（児童館、子育て交流サロン 等）</b> ☆複合・集約化により建物総量を圧縮しつつ、子育て支援の場の維持を図ります。 ☆複合化により、施設の多機能化や多世代交流の充実など、利便性や魅力の向上を図ります。	a	・ b	・ c	・ d	→	6. 児童館等
<b>施設類型：7. 支所・出張所</b> ☆他の施設との複合化により建物総量を圧縮しつつ、地域の拠点施設への移設による利便性向上を図ります。 ☆現在の利用状況やマイナンバー制度を含めたデジタル化の進展を踏まえ、各地区に必要な窓口機能について見直しを図ります。	a	・ b	・ c	・ d	→	7. 支所・出張所

設問2 その他の類型（8～23）に対するご意見やご提案があれば、右の意見欄にご記入ください。 →